



いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会へ

T-mind

聞かせて! 小児科 部長

中川 良

- おやこでおいしい栄養満点レシピ
野菜のパウンドケーキ
- コラム
小児科看護師Q&A
- Information

「落ち着きがない、起きられない等
増え続ける発達と不登校の問題を扱う小児科の専門外来」





聞かせて!
小児科 部長

中川 良
Ryo Nakagawa

落ち着きがない、起きられない等 増え続ける発達と不登校の問題を扱う 小児科の専門外来

PROFILE

【なかがわ・りょう】

2003年東京医科歯科大学を卒業。
アメリカ・ジョンズ・ホプキンス大学、
東京大学医学部附属病院などを経て、
2021年4月より当院に勤務。日本
小児科学会専門医。

コロナ禍の中で始めた 発達・不登校外来

当院の小児科は2021年4月に新たなスタートを切りました。皆さんに知ってもらって、現在は日々、多くの患者さんが訪れるようになっています。ただ、コロナ禍においては、1日の患者数が10人以下ということも。そんな中で新しい試みとして始めたのが、専門外来の「発達・不登校外来」でした。

この外来では、基本的には私が初診を受け、話を聞いて、まず治療可能な病気がないかどうかを調べます。背景にあるのが発達やこころの問題だとしても、医療的な治療を必要としているケースがあるからです。例えば、学校に行けない理由が「お腹が痛い」「朝起きられない」といった場合、胃腸の病気や貧血などが、その症状を引き起こしているのかもしれませんが。そういった身体的な問題の有無を確認すると並行して、公認心理士・臨床心理士・学校心理士とも連携して、心理カウンセリングや知能検査などを行っています。

相談内容は、例えば、落ち着きがない、怒りで手が出てしまう、集中できない、散らかし放題で物をすぐなくす、眠れない、朝起きられない等々。その子に合った工夫をしたり環境を整えたりすることで改善できればよいのですが、難しい場合は状況をみて投薬などを試みます。

増え続ける不登校

私には子どもが6人いますが、現在小学3年生にあたる子がいわゆる“不登校”なんですね。最初のうちはいろいろと葛藤もありましたが、子どもが6人いたら1人くらいいても不思議はないと考えるようになりました。そのくらい今、不登校の子たちが増えているんです。

統計でも不登校の子どもは近年増え続けていて、在籍生徒全体の3%くらいになっています。ただ、何らかのかたちで学校に来ているとカウントされない、といったことがあるので、実際は10%くらいではないかと私は考えています。10人に1人。私が子どもの頃の10倍くらいですね。

不登校の原因は、いじめや家庭の問題など様々ですが、特に発達の問題が多く関わっていると思います。「発達障害」は、社会的に言えば「周囲に適応できない」ということ。時代とともに、学校に適応するのが難しい子どもたちが増えてきています。

「不登校をなくそう」は 現実的ではない

実際に発達・不登校外来をやってみて、相談者の多さに驚かされています。この子どもたちを全員学校に行かせるというのは現実的ではありません。他の先進国と比べても、日本は子どもの自己肯定感が低いとされ、自殺する子どもがたくさんいるというのが現状です。そんな中で、「不登校をなくそう」という発想は、もう成り立たなくなっています。

この外来で私たちが目標にしているのは、「学校に行かせること」ではありません。学校に行っても行かなくても、子どもが自らどう学んで、どう幸せになっていくかを見守り、サポートしていくことです。

発達障害については、自閉症や

ADHD（注意欠陥多動性障害）といった病名がつくことで周囲からレッテルを貼られてしまうという一面があります。一方で、障害の程度が軽度だと、かえって本人がつらさを感じ困難を抱えやすいといった一面も。一概には言えない難しいところなので、程度に関わらず、一人ひとりに合わせた対応を心がけています。

保護者と「一緒に悩む」

また、多くの場合、「標準でない」ということが親を不安にさせています。「何事も標準以上でなければならぬ」というのは、日本人によくある思い込み。保護者には、「本人が決めたことや好きなことを楽しくやれているのなら、お子さんにとって幸せなことなのでは？ ありの

ままを受け止めて、一緒に応援していきましょう」などと伝えています。

家庭のことは保護者が、学校のことは学校の先生が考えるべきでしょうし、病院が介入できることはあまりないかもしれません。それでも、少なくとも親御さんと「一緒に悩む」ことはできるかなと思っています。また私は、「自分の子どものことになると、なかなか冷静でいられませんよね」といった気持ちも保護者の皆さんと共有できるようになりました。これは我が子のおかげですね。

子ども食堂などで地域に貢献したい

小児科では今後も、小児アレルギー外来、小児神経外来など専門外来の充実を図っていきます。

それから、ぜひ院内で子ども食堂

のようなイベントを開催したい。そこに不登校の子たちも来てくれたらうれしいですね。大きい子たちはスタッフとして参加したり、小さい子を手伝ったり。こういったところからも、地域の皆さんの交流が広がっていいかなと思います。

昔なら、学校に行き渋る子がいたら家族の誰かが連れて行ってくれたり、学校を休んだ子のお昼ごはんを近所のお宅で食べさせてくれたり……。そういったことで救われる親も多かったんじゃないでしょうか。

今は困った時にどこにも相談できないのか、初診の付き添いで来たお母さんの半分が涙を流されます。できれば「一緒に悩む」人がたくさんいてくれるといいのですが。私は子どもを総合的に診る小児科医として、その1人であり続けたいと思います。

小児科 看護師

◎インタビュー とうごう のりこ
小児科看護師 東郷 紀子



Q 小児科での仕事内容を教えてください。

A 医師が行う診療の補助や下準備のほか、簡単な処置や検査、保護者への対応などです。患者さんは乳幼児から中高生まで幅広く、年齢に応じて対応します。常に保護者の付き添いがあり、一緒にお話しさせていただくのが小児科の特徴ですね。学校でインフルエンザなどの感染症が広まる時期はとても忙しくなります。

Q どうして小児科の看護師になったのですか？

A 小さい頃に骨折をして病院にかかったのですが、そこで出会った看護師さんが優しく、とても素敵な人だったんです。それから看護師になって、ずっと子どもの看護に携わっています。成田生まれ成田育ちで、今は自分も5歳の息子の子育て中。出産後、2019年から当院で働いています。

Q どんなところにやりがいを感じますか？

A まず子どもたちはみんなかわいくて、それだけで楽しいです。「今日はどんな子が来るのかな」と予約の名前や年齢を見てプレイルームに好きそうなものを用意したりして、「どうしたら喜んでもらえるかな」といつも考えています。そうやっていい関係がつけると、治療や検査を頑張ってくれたりするのうれしいですね。

Q 小児科看護師として心がけていることはありますか？

A 病院は「痛い」「怖い」というイメージになりがちなので、1つでも多く成功体験を持って帰ってほしいなと思っています。小さい子は聴診器をあてるのも怖がるので、ちょっとしたことで褒めたり感心したり、明るく賑やかに対応していますね。保護者の皆さんも、気になることがあればいつでも声をかけてくださいね。



おやこで
おいしい

栄養満点レシピ



野菜のパウンドケーキ

材料 (17×8×6cmのパウンドケーキの型)

〈人参ケーキ〉

- 人参(すりおろす) …… 100g
- 卵 …… 2個
- きび砂糖 …… 40g
- 無塩バター(常温に戻す) …… 30g
- 塩…ひとつまみ 米粉…100g
- ベーキングパウダー …… 5g

〈ほうれん草ケーキ〉

- ほうれん草(茹でた物) …… 50g
- バナナ …… 50g 卵 …… 2個
- きび砂糖 …… 30g
- 無塩バター(常温に戻す) …… 30g
- 塩…ひとつまみ 米粉…100g
- ベーキングパウダー …… 5g

作り方

- ①常温に戻しておいたバターときび砂糖をホイッパーで混ぜ合わせる。
- ②卵、塩、野菜(人参・ほうれん草とバナナ)を①に加えて、更によく混ぜ合わせる。※ほうれん草とバナナはブレンダーなどでペースト状にする。混ざりにくい時は卵も加えて攪拌する。
- ③米粉とベーキングパウダーを混ぜ合わせて、ふるいにかけて、②の材料とサックリと混ぜ合わせる。
- ④型に生地を流し込み、180度で予熱しておいたオーブンで30分程度焼く。

★卵アレルギーの方：卵を入れずに、ベーキングパウダーを1.5倍量へ増やす

★乳アレルギーの方：無塩バターを入れずに、食物油を同量入れる

エネルギー (1/8カット)

人参…122kcal / ほうれん草…120kcal

栄養ポイント

野菜を利用したお菓子で、お子さまでも食べやすいレシピを作りました。ほうれん草はバナナと合わせると独特の青臭さが和らぎ食べやすくなります。米粉を使う事でしっとりもちりと食感もよく、小麦アレルギーの方にも安心して食べていただけます。その他の食物アレルギーをお持ちの方も、左記(★)を参考にアレンジしてみてください。ほうれん草や人参などの緑黄色野菜には、β-カロテンという抗酸化作用の高い栄養が多く含まれているため、お子さまだけではなく、大人の方にもぜひ食べていただきたいです。

Information



令和6年能登半島地震 NPO法人TMATが災害医療活動

令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、国内外で災害医療支援活動に取り組むNPO法人TMAT(徳洲会医療救援隊)は、発災直後からリレー形式で被災地に隊員を派遣し支援活動を行いました。

当院からも、TMAT隊員である村山弘之副院長、浅野昌子看護主任、千葉明日美看護主任の3名が駆け付け、有症状者の観察や要介護者の支援などの活動を行いました。



村山弘之副院長(写真奥)



浅野昌子看護主任(写真左)



千葉明日美看護主任(写真手前)



TMATホームページ <https://www.tmat.or.jp/>

成田富里徳洲会病院の運営方針

徳洲会の基本理念「生命だけは平等だ」をこの成田富里の地で実現することを使命として運営します。

理念の実行方法

1. 救急患者さんを断らない
2. 患者さんからの贈り物は一切受け取らない
3. 安心安全な質の高い医療を提供する
4. 地域のニーズに耳を傾け、患者さん目線で医療を提供する
5. 高度な技術と豊かな人間性を併せ持つ医療人を育成する



国道51号線からの場合、京成成田駅入口の信号を富里方面へ曲がり約100m 東関東自動車道の場合、富里ICより成田駅方面へ約8分



医療法人徳洲会

成田富里徳洲会病院

〒286-0201 千葉県富里市日吉台 1-1-1 ☎0476-93-1001(代)
E-mail soumu@naritatomisato.jp <https://www.naritatomisato.jp/>



「とみちゃん」は富里市の公式マスコットキャラクターです。